

あの丘越えて (1951)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 83分

初公開日 1951/11/01

【解説】

菊田一夫の原作を瑞穂春海が脚色し瑞穂春海が監督。14歳の美空ひばりと27歳の鶴田浩二の歌声で綴る青春映画。美空ひばりが歌う主題歌もヒットした。

母を亡くした万里子は婆やに預けられ、山の牧場で元気いっぱい育てていた。新しい妻を迎え事業も成功した父の研一郎は、万里子を東京に呼び戻した。婆やたちに別れを告げた万里子は、新しい母である朝子や家庭教師の大助に愛され、都会での暮らしを楽しめるようになっていた。しかし研一郎の事業の業績が悪化し、朝子の父の伍平に援助を頼むことになった。ひよんなことから万里子が朝子の実子でないことを知り、万里子を自分の孫と思い込んでいた伍平は腹を立ててしまう。責任を感じた万里子は家を出て、ひとりで山の牧場へ帰っていった。

【クレジット】

監督 瑞穂春海

製作 山口松三郎

企画 福島通人

原作 菊田一夫

脚本 瑞穂春海

撮影 厚田雄春

美術 熊谷正雄

編集 浜村義康

音楽 万城目正

出演 美空ひばり

鶴田浩二

井川邦子

飯田蝶子

森川まさみ

中川弘子

新田実

高屋朗

奈良真養

堺駿二

河村黎吉